

問1	戦国時代において、各地の戦国大名が自らの領国内を統治し、家臣や民衆を統制するために独自に制定した法律を何というか。 （2021年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. 分国法	2. 御成敗式目	3. 武家諸法度	4. 公事方御定書
問2	1543年、九州の南側に位置する種子島にポルトガル人が漂着した際、日本に初めて伝えられた武器について述べた文として、正しいものはどれですか。 （2017年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. この武器は高度な技術が必要だったため国内での製造ができず、終始輸入に頼っていた。	2. この武器は鉄砲と呼ばれ、その後の戦国時代の戦い方を集団戦へと大きく変化させた。	3. この武器は弓矢と呼ばれ、従来の騎馬武者による一騎打ちをより重視させるようになった。	4. この武器の伝来と同時にフランシスコ・ザビエルによってキリスト教が日本に広められた。
問3	戦国大名の武田氏にゆかりのある、現在の山梨県に位置する武田神社付近には、かつて大名の館を中心とした町が形成されていました。このように大名が家臣や商工業者を集めて町を作った主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 （2016年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 有力な寺社への参拝客を増やすことで、宗教的な権威を利用して領民を支配するため	2. 交通の要所に休憩所を設けることで、旅人の利便性を高め、通行税を徴収するため	3. 家臣を一定の場所に集めて統制し、商工業を振興して領国の経済と軍事を支えるため	4. 海外との貿易を独占するために、海岸線に面した土地に防衛拠点を築くため
問4	1549年に現在の鹿児島県にあたる地域へ来航し、日本に初めてキリスト教を伝えた宣教師の名前と、彼が所属していたカトリック教会の組織の組み合わせとして正しいものはどれか。 （2020年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. マルコ・ポーロ（東インド会社）	2. フランシスコ・ザビエル（イエズス会）	3. 鑑真（唐招提寺）	4. ペリー（アメリカ海軍）
問5	室町時代後半から戦国時代にかけて見られた、身分や立場が下の者が、実力によって上の者に打ち勝ち、その地位を奪う社会的な風潮を何といいますか。 （2016年 静岡県公立入試 類似）			
	1. 一向一揆	2. 下剋上	3. 御成敗式目	4. 尊王攘夷
問6	16世紀半ばに種子島へ伝来した鉄砲は、その後の日本の戦い方を大きく変えることとなりました。鉄砲の普及が戦国時代の社会や軍事面に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。 （2016年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 武器の威力が向上したため、平地での戦闘を避けて山城にこもる戦術が一般的になった	2. 足軽などの歩兵による集団戦法が主流となり、戦いの規模が拡大した	3. 騎馬武者の一騎打ちが重視されるようになり、個人の武勇がより重んじられた	4. 鉄砲の製造が困難であったため、京都周辺の限られた大名だけが勢力を伸ばした
問7	戦国時代に各地を支配した戦国大名の多くは、「下剋上」という風潮の中で台頭しました。この時代における「下剋上」の説明として、当時の社会状況をふまえた最も適切なものはどれですか。 （2016年 静岡県公立入試 類似）			
	1. 朝廷の権威を背景とした下級武士が、実力行使によって幕府の政治を批判し、地位を向上させた。	2. 下の者が実力で上の者に打ち勝って地位を奪い、新たな領主として領国支配を広げていった。	3. 幕府から任命された守護が、自らの実力を高めて隣国を吸収し、支配権を世襲していった。	4. 農民たちが宗教的な団結を強めることで、武士の支配を実力で排除して自治を行った。
問8	戦国大名の一人である朝倉氏が定めた「朝倉敏景卿四十七ヶ条」という資料には、家臣が自らの居城以外に城を築くことを禁止する内容などが記されています。このような規定を設けることで、戦国大名が実現しようとしたこととして最も適切な説明を選びなさい。 （2026年 大阪府公立入試 類似）			
	1. 朝廷の許可を得ることで、他の大名に対して官位の優位性を示すこと	2. キリスト教の布教を制限することで、領民の思想的な結束を図ること	3. 室町幕府の権威を背景に、近隣の守護大名との同盟を維持すること	4. 家臣が独自の軍事力を持つことを抑え、大名による領国支配を強化すること
問9	戦国大名が「分国法」を定めた目的や、その内容に共通する特徴として最も適切なものはどれですか。 （2023年 静岡県公立入試 類似）			
	1. 鎌倉幕府が定めた武士の慣習を全国一律に適用し、朝廷の権威を守ること	2. キリスト教の布教を制限し、特定の寺社を保護して領国内の思想を統一すること	3. 家臣同士の私的な争いを禁じ、大名の強力な権限で領国内の秩序を維持すること	4. 江戸幕府の許可を得て、大名同士の婚姻を制限し、軍事力を抑え込むこと
問10	室町時代の後半から戦国時代にかけて、各地で戦国大名が勢力を伸ばした背景として最も適切な説明はどれですか。 （2024年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 幕府が各地の有力な農民に領地を分け与え、新しい支配層として育成したため	2. 特定の家柄のみが政治を独占する「門閥政治」が行われ、それに反発した新興勢力が台頭したため	3. 朝廷の権威を重んじる「尊王攘夷」の考えが広まり、幕府を打倒する勢力が現れたため	4. 幕府の権威が衰え、身分の低い者が実力で上の者をしのぐ「下剋上」という風潮が強まったため
問11	戦国時代において、戦国大名が自らの領国内の秩序を維持し、家臣や民衆を統治するために独自に制定した法律を何と呼びますか。江戸時代に幕府が定めた武家諸法度とは異なり、各大名が自分の領土の実情に合わせて定めたものを指します。 （2021年 三重県公立入試 類似）			
	1. 分国法	2. 武家諸法度	3. 御成敗式目	4. 公事方御定書
問12	1549年に鹿児島へ上陸し、日本に初めてキリスト教を伝えたイエズス会の宣教師は誰か。 （2017年 北海道公立入試 類似）			
	1. ルイス＝フロイス	2. マテオ＝リッチ	3. フランシスコ＝ザビエル	4. ヴァリニャーノ
問13	戦国時代において、下の身分の者が上の身分を圧倒する「下剋上」の風潮が広まった背景として、最も適切な説明はどれですか。 （2022年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 朝廷が新しい官位制度を導入し、能力に応じた地位をすべての人々に与えたため。	2. 幕府が強力な中央集権体制を確立し、地方の武士に直接命令を下すようになったため。	3. 応仁の乱によって幕府の支配力が弱まり、各地で実力による領国支配が行われるようになったため。	4. 農業技術が向上したことで農民が完全に自立し、武士による支配が消滅したため。
問14	1543年にポルトガル人を乗せた船が漂着し、日本に初めて鉄砲が伝えられた場所はどこですか。その地理的な位置関係を示す説明として正しいものを選んでください。 （2024年 大阪府公立入試 類似）			
	1. 関東地方の東部に位置し、東京湾の入り口にあたる千葉県のパウ質	2. 九州地方の北部に位置し、大陸との交流が盛だった福岡県の博多	3. 九州地方の南端に位置する鹿児島県の離島である種子島	4. 四国地方の南部に位置し、太平洋に面した高知県の土佐清水